

連載46
ウガミヤブラ(うんいちほ)
鹿児島事務所 です！

新型機ATR42-600

鹿児島ー沖永良部間 初就航

JACの新型機ATR42-600のお披露目式が、3月10日に霧島市のJAC本社でありました。

今回導入される新型機は、フランス生まれのターボプロップ機で、現在就航しているサーブ機の後継機となります。座席数は、サーブ機より12席多い48席となり、全席黒を基調とした高級感溢れる革張りのシートです。客室もLED照明で明るくなり、座席上の収納棚も大きくなつたうえに、手の届きやす



い高さになっています。現在就航中のボンバルディアQ400機やサーブ機とは異なり、出入り口は後部に設けられているほか、離島間を結ぶ路線でもあるため、緊急の病人等を乗せるためのストレッチャーを設置できるのが特徴です。

今回の新型機ATR42-600は、今後導入されるものを含め9機がJACの路線を就航する予定で、初号機には機体後方に本町の町花でもあるハイビスカスが描かれています。このデザインは、タラデザイン専門学校とJACがコラボした特別塗装とのこと。

3月に国立公園に指定され奄美群島にとっては、更に世界自然遺産登録を目指す

うえで今回のこの飛行機の就航は追い風となつてくれることでしょう。4月26日に鹿児島ー沖永良部線として初就航します。美しく優雅な機体を迎えるのが楽しみです。

今回の人事異動で企画振興課へ異動となりました。4年間の鹿児島事務所勤務でしたが、「広報読んだよ」と多くの皆さまの声を励みに、平成25年6月から連載し46回目を迎えることができました。「ウガミヤブラ 鹿児島事務所」は今後も続いていますので、後任共々よろしくお願ひします。

4年間、しつたいみへでい



前所長 元栄 吉治

New books

話題の本、入荷しました!

『ルポ 希望の人びと』

生井 久美子／著 朝日新聞出版
認知症の本人同士が出会い、つながり、発信する。認知症の常識を変える「当事者の力」！
初の当事者団体誕生の軌跡と最先端の「いま」を伝える、渾身のルポ。『朝日新聞』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。



『洞窟ばか』

吉田 勝次／著 扶桑社
ときに10日間以上洞窟に入りっぱなしのこと。何度死にかけても、暗闇の先にある誰も見たことのない世界がどうしても見てみたい！
沖永良部島銀水洞の裏話も掲載。洞窟探検家が自身の半生を振り返りながら洞窟愛を綴る。

問 町立図書館 電話(93)4356



<https://www2.china-lib.jp/Web0pac/spopac/index.do>